

秦野市スポーツ推進計画（案）に対するパブリック・コメントの実施結果について

1 募集期間

(1) 議会 平成28年2月16日（火）～3月18日（金）

(2) 市民 平成28年2月17日（水）～3月10日（木）

2 意見募集の周知方法

市ホームページ及び広報はだの2月15日号

3 策定案の公表の方法

(1) ホームページへの掲載

(2) 公民館、公共スポーツ施設（スポーツ振興課〔総合体育館〕含む）及び駅連絡所における閲覧

(3) 本庁舎行政情報閲覧コーナーにおける閲覧

4 意見提出の方法

郵送、FAX、電子メール及び持参の方法による

5 提出された意見の内容及びその取扱い等

件数等の内容及び対応状況

内容分類	件数	意見等への対応区分（※）				
		A	B	C	D	E
①全体に関すること	1		1			
②第1章に関すること						
③第2章に関すること	15	6				9
④第3章に関すること	13	5	2	6		
⑤第4章に関すること						
計	29	11	3	6		9

A：意見等の趣旨等を計画に反映させたもの

B：意見等の趣旨等が既に計画に盛り込まれていると考えるもの

C：今後の取組みにおいて参考にするもの。

D：意見等の趣旨等を計画等に反映することが困難なもの

E：その他（内容に関する感想・質問等）

パブリック・コメントに寄せられた市民からの意見・提案等

No.	内容分類	御意見等	策定案への反映状況	
			御意見・御提案に対する考え方	区分
1	①	生涯学習推進計画にも「スポーツ・レクリエーション、健康づくりに関する学習の推進」という施策があるが、現在のスポーツ推進計画と生涯学習推進計画は連携が充分でないと思われる。教育委員会側と連携を充分にとった施策展開にしてほしい。	御意見のとおり、教育委員会との連携は密に行っていきたいと考えております。	B
2	③	P4の「平成26年度実施状況」ですが、「59回秦野市総合体育大会」について、なぜ地区別の参加人数内訳が載っていないのでしょうか。 それと、どこが主催でどこが共催なのかも載っていません。合わせて、そのあたりの事情をお教え下さい。	御意見のとおり、記述を追加します。	A
3	③	P7～10の「スポーツ施設利用人数」ですが、すべての施設について、同じ人が2回3回・・・など複数回利用してもカウントされる「延べ人数」という理解でよろしいでしょうか。 それであれば、その旨を記載した方がいいと思います。	同上	A
4	③	P11の「スポーツ実施頻度」グラフのコメントですが、“運動する機会が多い人が33.6%で、平成20年度と比べて割合が低くなっている”と分析しています。 しかし、平成20年度において（平成26年度と同じように）「1日30分以上／ほとんど毎日／週2～3回程度／週1回程度」を足した結果は33.9%であり、ヘビーユーザーのスコアの足し上げを見る限りでは、その差はわずか0.3%です。 したがって、これをもって“低くなっている”と言うには無理があると思います。（上記の頻度において、運動が減っているのは「週1回程度」の部分だけです） もし、“低くなっている”という分析を導き出したいならば、むしろ「全くしていない：平成20年度37.7%→平成26年度45.3%」に注目した方がいいと思います。	御意見のとおり、追加・修正します。	A
4 2	③	それと前段の部分で、“2極分化している”とコメントしていますが、そうすると「月1回程度」の人はどちらに入るのかという疑問が湧きます。 そもそも2極分化云々というのは、ある部分で切って「それ以上」と「それ以下」が拮抗している時に言うのであって、たまたま同じスコアの「週1回程度」と「年数回程度」を持ちだして、それよりも上下あるいは隣接する他の選択肢を無視して“2極分化”と述べるのは適切とは言えません。	P11以降で示されている「WEBアンケート調査」結果は、P23の「4主要課題」を導くための基礎根拠となっております。 そして、記載しているコメントは、“分析”ではなく、あくまでグラフの“読み取り説明”ではありますが、その説明についても不十分な点が多く、御意見のとおり、分りにくい判断いたしました、削除いたします。	E
4 3	③	また、このページ以降で男女、年代別のコメントも載せてありますが、データの図表などの添付がなければ、読んだ人が内容を確認できず不親切な印象を受けます。	同上	E

5	③	<p>P13の「スポーツ満足度」のグラフですが、まず平成26年度と平成20年度ではそもそも選択肢が違うので、これを同じ評価として比較するのは適切ではありません。</p> <p>しかも、平成26年度の満足度項目として「行っているがもっと行きたい」を含めていますが、平成20年度の5段階評価とは選択肢は異質のものであり、これを満足度評価として述べるのは、調査分析上正しくありません。</p> <p>“回答項目を変えている”と注釈を入れていますが、「行っているがもっと行きたい」＝「やや満足している」と同じ意味に当てはめるには無理があります。</p>	同上	E
6	③	<p>P14の「スポーツをしない理由」ですが、平成20年度は「興味・関心がない」「スポーツが苦手」「1人で気軽にできない」の各理由も、平成26年度よりも高くなっている点はコメントとして見逃せないと思います。</p>	同上	E
7	③	<p>P15の「現在行っているスポーツ」ですが、「ジョギング」とともに「筋力トレーニング」もほぼ同率となっているので、コメントに追加した方がいいと思います。</p>	同上	E
8	③	<p>P19の「スポーツ施設の設置状況」ですが、「数も設備内容も不十分」が19.0%→25.8%と上昇していますが、このコメントも追加した方がいいかも知れません。</p>	同上	E
9	③	<p>P20の「設置してほしいスポーツ施設」ですが、「特にない」が平成26年度では4割弱（39.8%）を占めて、平成20年度（24.7%）と比べてかなり上昇していますが、これも意識として載せるべきだと思います。</p>	同上	E
10	③	<p>P21の「スポーツ施設への要望」ですが、コメントの中で述べている上位項目に、なぜ「利用時間の拡大」がないのか疑問です。「施設・設備の充実」と大差ない結果なのに、それを外している理由をお聞きしたいと思います。</p> <p>それと、4人に1人は「特に要望はない」という点にも言及した方がいいと思います。</p>	同上	E
11	③	<p>P23の帯グラフですが、注釈に「県結果の「していない」には、「わからない」・「無回答」を含む」とあります。そこで、市の結果について「無回答」などの処理はどうしたのでしょうか。「していない」に含めているのか、そもそも無回答はなかったのかお聞きしたいと思います。</p>	無回答はありません。	E
12	③	<p>P24の「運動・スポーツをしなかった理由」のグラフですが、注釈では“「知らない・興味ない」は、県結果では「場所や施設がない」を表示し、市結果では「施設やクラブを知らない」「興味・関心がない」を表示”とありますが、これらをまとめてしまうのはちょっと乱暴過ぎます。</p> <p>そもそも「知らない」と「興味がない」は意識・評価として別ものです。「知らない・興味ない」という市の結果が異様に高いのは、恐らく「興味・関心がない」</p>	御意見のとおり、追加・修正します。	A

		を入れたためだと思いますが、それであれば別項目でグラフにして、「県結果では非測定」という注釈を入れるのが普通です。		
13	③	P 2 4の「満足度における課題」ですが、コメント中“「関心がない」と回答した者の割合が、県結果の約2倍高い”としています。そこに注目するなら（県との比較ではなく）「満足」のスコアを上回っている点に注目して記述すべきです。	同上	A
14	③	P 3 7において、体育協会とスポーツ振興財団が一元化される経緯・理由を教えてくださいたいと思います。	御意見のとおり、追加いたします。（公益財団法人秦野市スポーツ協会【概要】欄に加筆します。）	A
15	④	動機づけについて、単にスポーツをする面からでなく、「医療」・「栄養管理」・「福祉」とも密接に関連してスポーツをやり始めるので、そちらとのコラボレーションした事業展開が必要だと思います。	御意見として受け賜り、施策展開を図る上で参考とさせていただきます。	C
16	④	のびのびとスポーツできる環境を「ささえる」ための重点指標が、スポーツボランティアの登録人数となっているが（P 2 7）、スポーツボランティアがどのくらい活躍したかを指標とすべきである。これには、スポーツボランティアが活躍できるようなスポーツイベントを作っていかなければならない。登録人数をいくら増やしても、それだけでは意味がない。	御意見のとおり、追加・修正します。	A
17	④	スポーツ少年団をスポーツ推進計画の中でどう位置付けていくのかが見えない。計画の中で明確にした方が良い。（P 3 0「子どもの遊び・スポーツ機会の充実」の施策の中にスポーツ少年団への支援の取り組みを入れる。）	御意見として受け賜り、施策展開を図る上で参考とさせていただきます。	C
18	④	部活動においても指導者不足が聞かれている。顧問・指導者の派遣事業は是非、活発に行ってもらいたい。	P 3 1で記述しているところですが、御意見として受け賜り、施策展開を図る上で参考とさせていただきます。	B
19	④	ボッカ駅伝は、特色あるスポーツイベントに位置付けられるのではないか。	御意見のとおり、追加・修正します。	A
20	④	民間スポーツ施設等の利用・促進の施策（P 3 4）の中で主な取組みとして民間企業との連携がない。どのように連携するのか明確化が必要である。	同上	A
21	④	教育委員会部局と連携し、学校体育施設の開放を進めてみてはどうか。（生涯学習推進計画には記述がある）	同上	A
22	④	スポーツで繋がるネットワークの構築の取組みの指数値指標（P 3 6）をツイッターのフォロワー数にするなら、スポーツ推進計画として、誰が、どのような情報を、どのように発信するのが明確でないと、数値目標が立てられないと思われる。	御意見として受け賜り、施策展開を図る上で参考とさせていただきます。	C
23	④	スポーツ関係団体等の支援・育成の取組みの目標数値が専門委員会の開催数となっていますが（P 3 7）これは（公財）秦野市スポーツ協会の中の数値なので市として掲げるべき目標ではないと思われる。 また、この数値自体も多ければ多いほど良いというものでもない。	御意見のとおり、修正します。	A
24	④	東海大学との連携をより強化すべきである。	御意見とおり大学との連携を密に行っていきたいと考えております。	B

25	④	<p>スポーツ施設利用者の「利用満足度向上を図る」ための施策として、「析窪スポーツ広場」や中学校の校庭はなぜ利用されないか、「分析と対策を行う施策」の追加が必要と考えます。</p> <p>また、活動場所が少ないという声が聞かれます。活動場所の整備と使用できる施設の広報活動をお願いします。(同一内容の要望2件)</p>	御意見として受け賜り、施策展開を図る上で参考とさせていただきます。	C
26	④	<p>高齢者の健康寿命について、今後秦野市においても更に高齢化が進んでいくことから健康寿命を延ばすことは重要になってくると考えます。</p> <p>基本施策1で具体施策や主な取組みが計画されていますが高齢者に対する取組みは最重要課題であるとの認識で、シンボルスーツや目標数値の設定など秦野市ならではの活動に取り組んでほしいと思います。</p>	同上	C
27	④	<p>動機づけについて、単にスポーツをする面からでなく、「医療」・「栄養管理」・「福祉」とも密接に関連してスポーツをやり始めるので、そちらとのコラボレーションした事業展開が必要だと思えます。</p>	同上	C